

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

進行期卵巣非漿液性癌における 術前化学療法とインターバル腫瘍減量手術療法の有効性についての後方視研究 に関する研究

1. 研究の対象

西暦2002年1月1日より2022年12月31日までの間に、日本産科婦人科学会腫瘍委員会登録データにある卵巣癌患者のうち初回治療を受けた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的 日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会婦人科悪性腫瘍登録事業で登録された、日本産科婦人科学会腫瘍委員登録データベースを用いて、進行期卵巣癌患者さんのうち漿液性癌や漿液性癌以外の組織型の治療や治療経過の実態の把握、予後に寄与する因子の検討を行います。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報はこのデータにはありません。しかし、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

日本産科婦人科学会データベース事業（婦人科腫瘍登録）に登録された情報：

- ① 年齢（注）

- ② 術前化学療法・放射線治療
- ③ 進行期分類（FIGO 分類、TNM 分類、pTNM 分類）
- ④ 病理学的組織診断
- ⑤ 治療開始年月日
- ⑥ 治療法（治療法、補助療法等）
- ⑦ 3 年・5 年予後報告
- ⑧ 治療後の健否
- ⑨ 最終生存確認年月日

注）登録で収集されているデータは匿名化されている情報（特定の個人を識別することができないもの）であり個人情報には該当しない。既存登録情報に基づく研究に関しては、情報を提供する際には患者氏名、住所、参加各施設固有の番号（患者 ID 番号等）、住所などの個人を特定しうる情報は一切提供されない。

5. 情報の授受

上記の情報を日本産科婦人科学会より提供されて研究を行います。

主な提供方法：日本産科婦人科事務局にて USB で直接受取る

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5297）

研究責任者 専門診療学系産婦人科 町田 弘子

問い合わせ担当者 同上